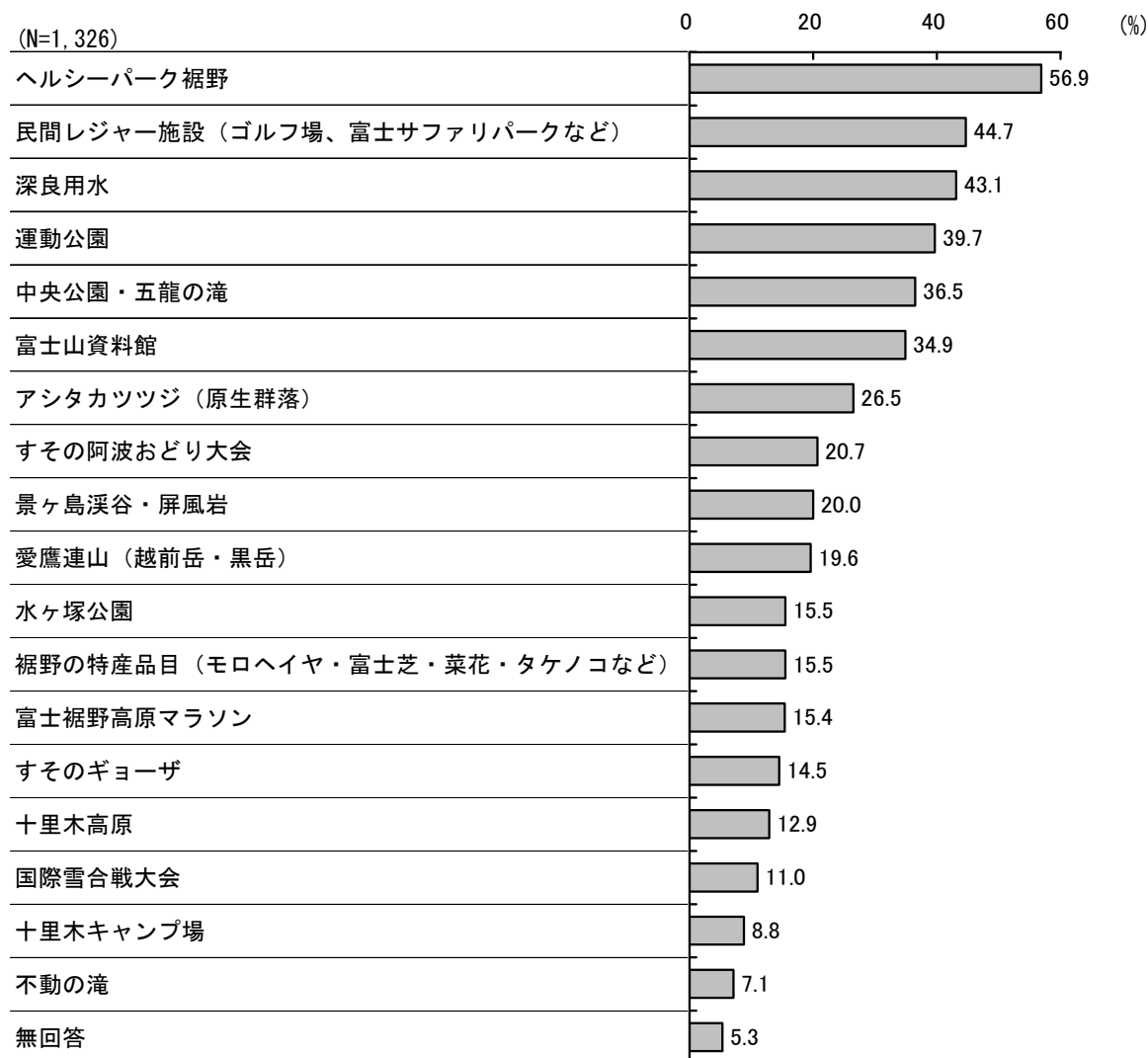


## ◇裾野市のアピールポイント・観光について

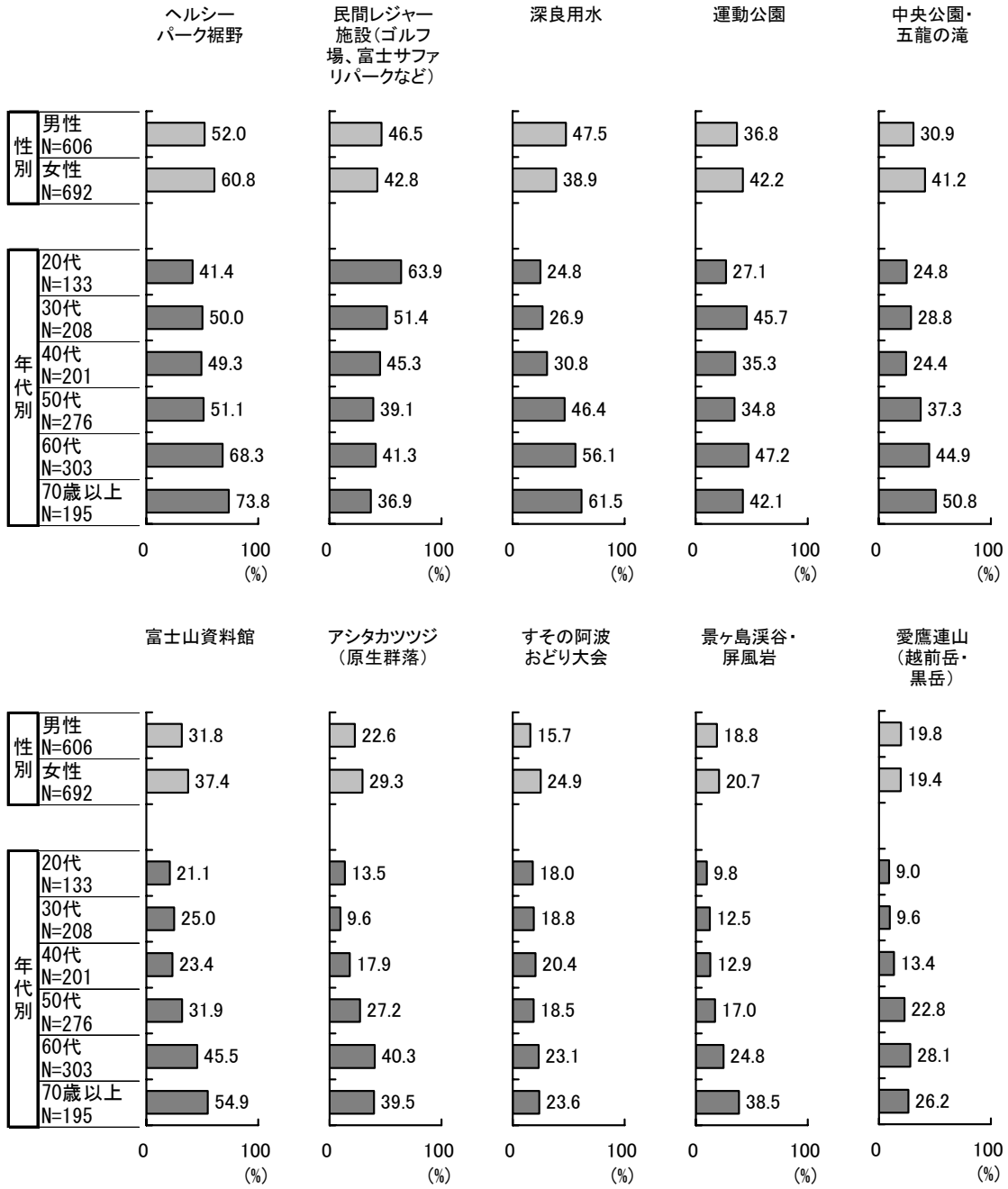
問 27 あなたは、ほかの地域の人に自慢できるものとして、裾野市にはどのようなものがあると思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

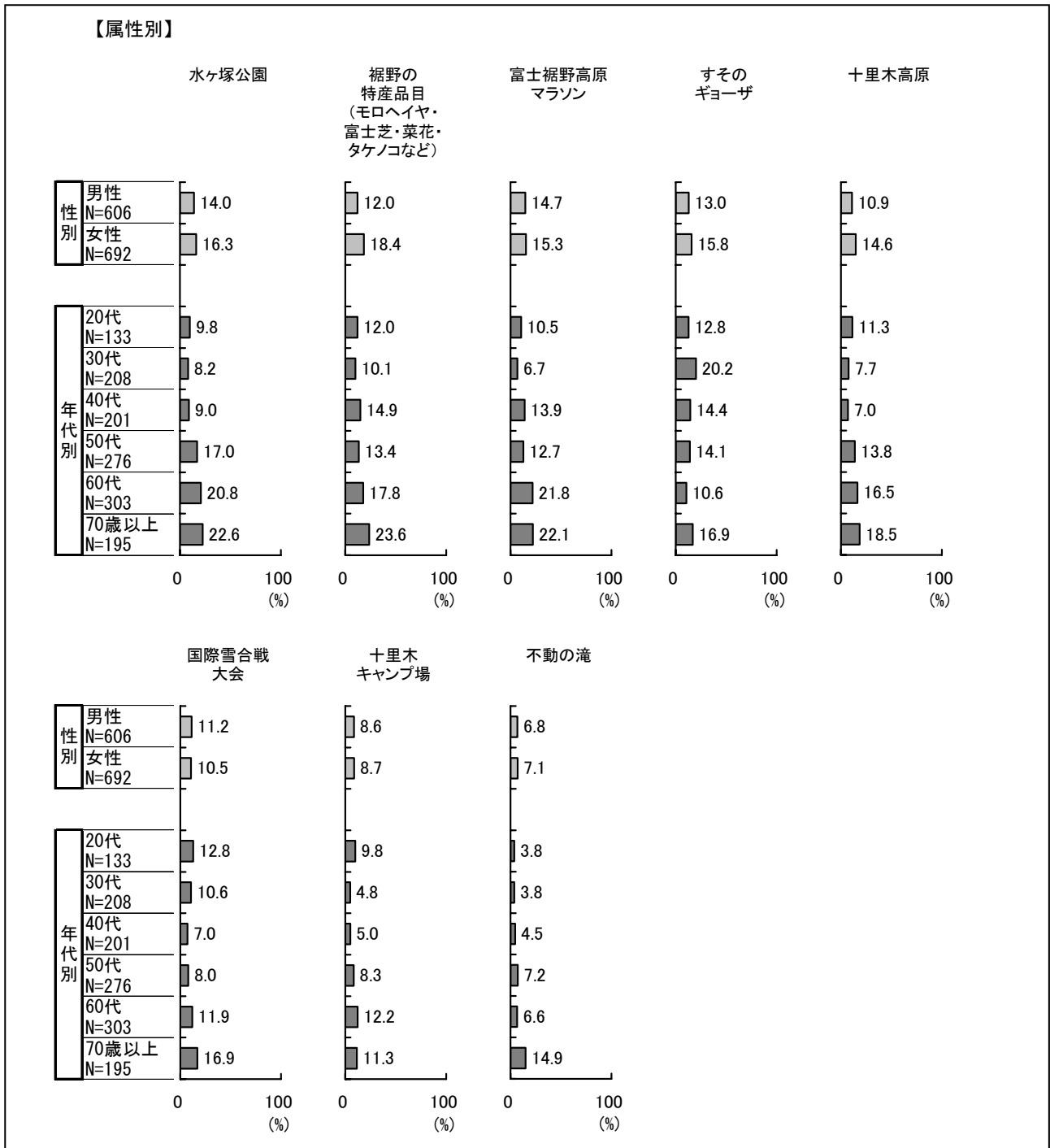


他の地域の人に自慢できると思うものは、「ヘルシーパーク裾野」、「民間レジャー施設」、「深良用水」、「運動公園」など。ほとんどの項目でおおむね年代が上がるほど割合も高い。

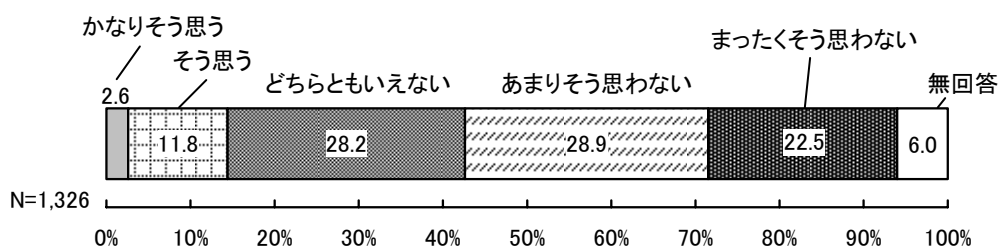
他の地域の人に自慢できると思うものは、「ヘルシーパーク裾野」が 56.9%と最も高く、以下「民間レジャー施設 (ゴルフ場、富士サファリパークなど)」(44.7%)、「深良用水」(43.1%)、「運動公園」(39.7%)、「中央公園・五龍の滝」(36.5%)、「富士山資料館」(34.9%)となっている。

【属性別】





問 29 あなたは、機会があれば観光ボランティアに参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

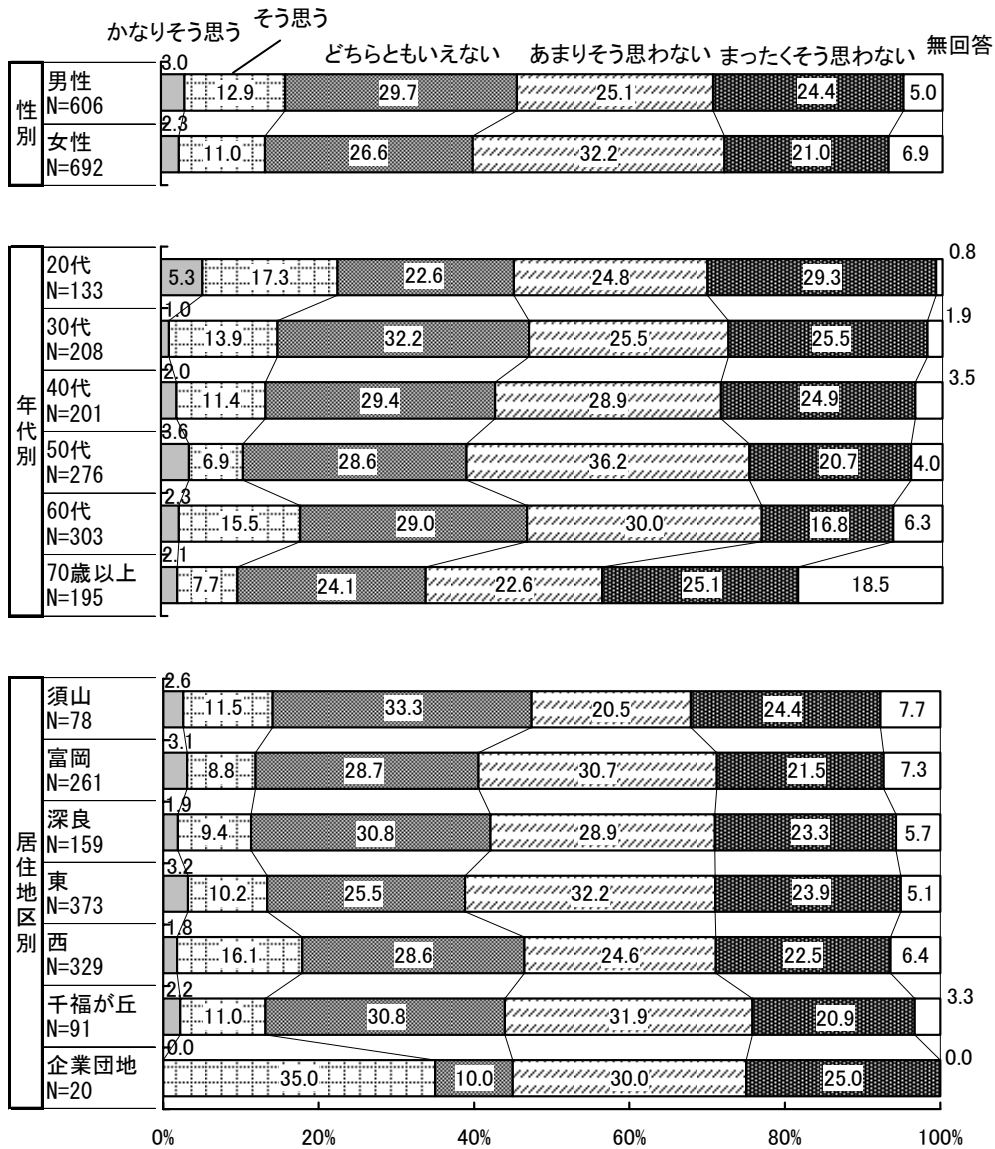


観光ボランティアへの参加意向は、“そう思わない”が過半数。

“そう思う”割合は、女性より男性が高く、またおおむね年代が低いほど高い。

観光ボランティアへの参加意向は、「あまりそう思わない」が28.9%と最も高く、「まったくそう思わない」(22.5%)と合わせて“そう思わない”は過半数に達する。一方、「かなりそう思う」(2.6%)と「そう思う」(11.8%)を合わせて“そう思う”は2割に満たない。

【属性別】

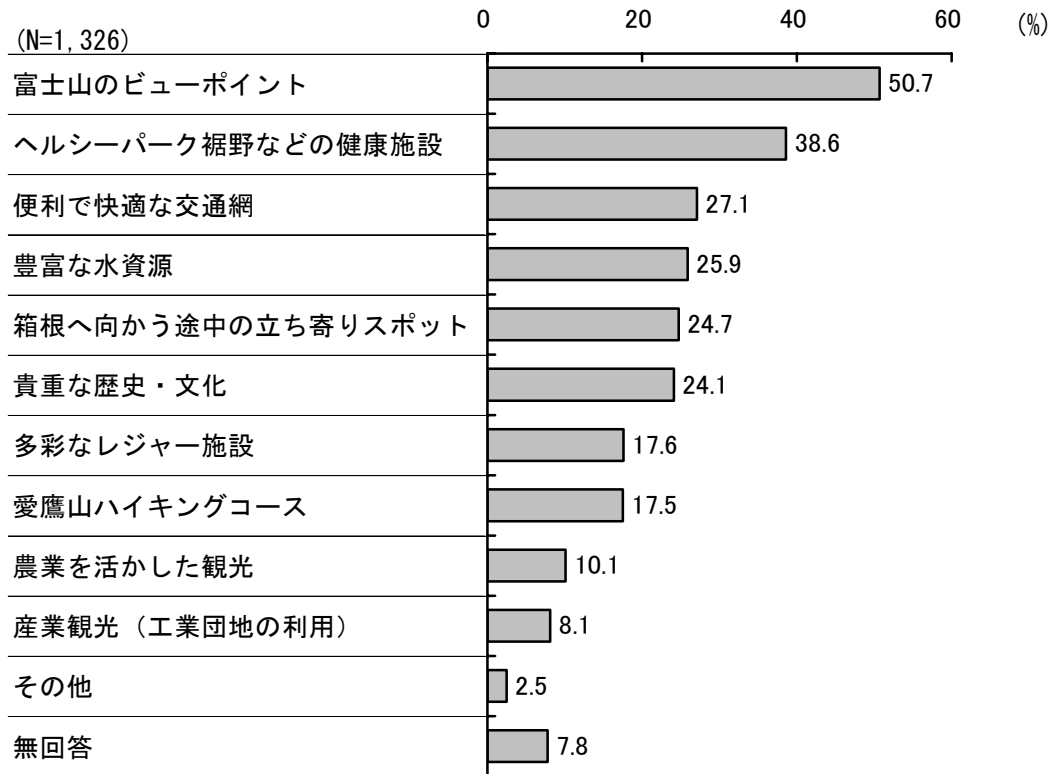


性別にみると、「かなりそう思う」、「そう思う」とも男性が女性を上回る。「まったくそう思わない」も男性が女性を上回るが、「あまりそう思わない」は女性が男性を上回っており、合わせると“そう思わない”割合は女性が男性より高い。

年代別にみると、“そう思う”割合は60代に高くなるものの、おおむね年代が上がるほど低くなる傾向である。50代では「かなりそう思う」が20代に次いで高くなっている。

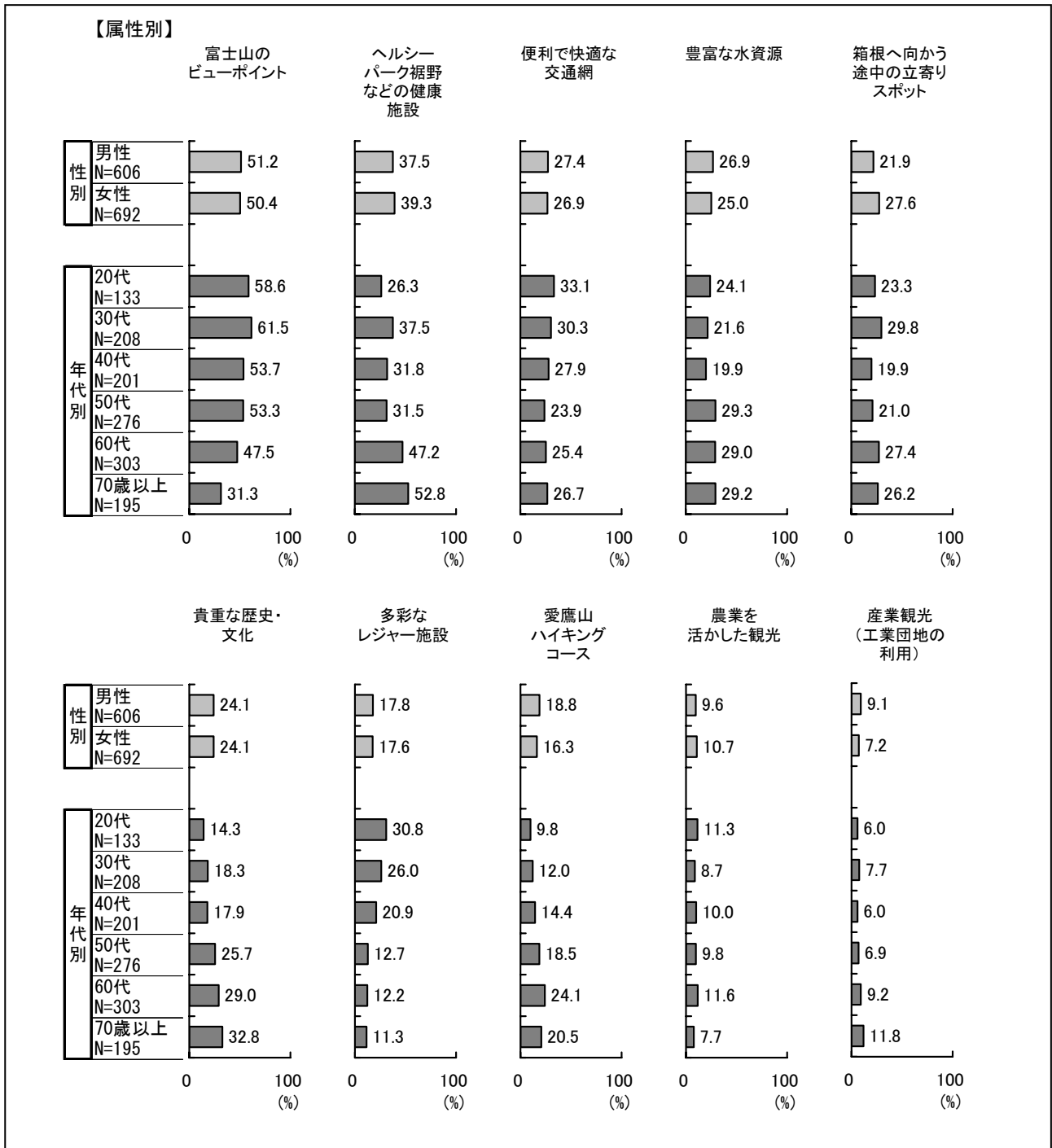
居住地区別にみると、「かなりそう思う」は大差がみられない。「そう思う」は企業団地が最も高いが、企業団地は「まったくそう思わない」も最も高く、「あまりそう思わない」を合わせると、“そう思わない”は過半数に達する。“そう思う”割合は須山、西の2地区で比較的高くなっている。

問 30 あなたは、観光地として裾野市のどこを充実すべきだと考えますか。(〇はあてはまるものすべて)



観光地として充実すべきポイントは、「富士山のビューポイント」、「ヘルシーパーク裾野などの健康施設」、「便利で快適な交通網」、「豊富な水資源」など。

観光地として充実すべきポイントは、「富士山のビューポイント」が 50.7%と最も高く、以下「ヘルシーパーク裾野などの健康施設」(38.6%)、「便利で快適な交通網」(27.1%)、「豊富な水資源」(25.9%)、「箱根へ向かう途中の立ち寄りスポット」(24.7%)、「貴重な歴史・文化」(24.1%)となっている。



性別にみると、「箱根へ向かう途中の立寄りスポット」で女性が男性をやや上回っているほかは大きな差は見られない。

年代別にみると、「富士山のビューポイント」、「便利で快適な交通網」、「多彩なレジャー施設」などは、年代が上がるほど割合が低くなる傾向となっている。一方、「ヘルシーパーク裾野などの健康施設」、「貴重な歴史・文化」、「愛鷹山ハイキングコース」などは、傾向が逆転し、年代が上がるほど割合も高くなる傾向となっている。